

平成19年度学校法人近畿大学弘徳学園事業計画

I. 学園の基本方針

学校法人近畿大学弘徳学園は、平成16年4月学校法人近畿大学から分離独立し、同時にかねてより懸案であった看護系大学開設に向け、諸活動を開始した。

そして、平成18年11月30日に文部科学大臣より、正式に「近大姫路大学看護学部看護学科」の認可を受け平成19年4月1日より、学園は、新たに近大姫路大学を加え、近畿大学豊岡短期大学（通信教育部を含む）・近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園の3つの学校を経営する学園として新たなスタートをきることとなった。

新大学の開設を機に、上田理事長により近畿大学から受け継いだ建学の精神を基礎とした、学園の教育目標が提示されるとともに、短大・通信教育部・附属幼稚園の改革と飛躍への取組が強調されるに至った。

・学園の教育目標

本学園の建学の精神は、近畿大学創設者世耕弘一先生が説かれた“教育の目的は、人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成することにある”とする。この精神を具現するためには、人格そのものに根源的な力が備わっていなければならない。すなわち、他人の心を思いやり、社会に対する深い洞察力を身につけるとともに、自然や環境に対する優しい理解と行動を保ち、加えて正しい歴史観や世界に対して幅広い視野を体得することによって、はじめて、人に愛され、信頼され、尊敬される人格を養い得ると考えている。

この建学の精神を達成するために、本学園では次の教育目標をかかげ、その実現に向け教職員一体となって尽力する。

- ① 人間は人間だけで生きているのではなく、自然の中で他の生命とともに、生かされているという認識及びその共生を推進するための実践力を培う。
- ② 専門職業人としてもつべき基本的な倫理観及び思いやりの心を培う。
- ③ 専門的に必要な基礎知識・技術を修得するとともに、創造性を培う。
- ④ 国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う。

この建学の精神を実現させるための教育目標である「共生の心を備えた人材」こそ、生命に対して深い畏敬の念や、一般社会人としての豊かな人間性と良識を持ち、広い世界観を持って社会に貢献する専門職の姿であると考えている。

また、近大姫路大学看護学部開学にあたっては、学園の上記の教育目標に加え、看護教育に関する教育理念と看護学部の教育目標が次のとおり示された。

・近大姫路大学看護学部の教育理念

学園の建学の精神に則り、生命を尊重し、人間の尊厳と権利に対する深い洞察力を持ちながら、人々の健康と福祉の向上に貢献する看護の専門家を育成することを目的とする。すなわち、「グローバルに考え、ローカルに働き」かつ「ローカルに考え、グローバルに働く」ことができる柔軟な視野を持ち、看護の専門的知識と確

かな技術を備えた実践家であり、慈愛に満ちた優しい心と信念を持って、人々に寄り添い、また人々と共に行動する社会人が育つ環境を整えることが本学部の使命である。

また、本学部は教育、研究、及び実践を通して、人間学として、実践科学としての看護学の知識・技術の開発・検証を行い、学問体系の確立を目指す。同時に本学部は、地域社会における人々の「生活の質（Quality of Life）」の向上を目指し、保健、医療、福祉の統合的な施策と具体的なアクションを発信できる地域に開かれた大学となることを目指す。

・近大姫路大学看護学部教育目標

1. 人間の尊厳と権利の尊重を基盤に、人間の苦しみや痛み、不安、憤り、喜びに共感でき、高い倫理観に培われた豊かな人間性を養う。
2. 「自立」を最大の価値として地域の人々がどんな健康状態であっても自己実現を目指して、その人らしく生きることを支援できる力を養う。さらに、人々が自ら健康についてエンパワーメントできるアプローチや方法が考えられ、それらを実践できる力を育成する。
3. 社会のニーズに対応できる最新の専門的知識・技術を身につけ、これらの知識や技術を柔軟に活用して、人々（個人、家族、地域社会）の健康増進、病気の予防、健康回復のための看護実践能力を培う。
4. 人々の健康障害や健康に関わる事象に対して、科学的な根拠に基づく判断や解決方法を見出す力、さらに倫理的判断によって看護実践ができる能力を養う。
5. 人々を中心とした保健、医療、福祉の統合的、一体的なサービス提供を行うために、看護の専門家としてこれらの領域で働く他の専門職について理解を深め、学際的な力を身につけ、他職種の専門家と協議して人々の健康問題や生活に関わる問題に主体的に取り組む力を養う。
6. 国や文化を超えて生じている感染症、様々な災害による被害や紛争被害によって起こる人々の生命や健康への脅威、生活の破綻に対して、国際的な視点から看護の支援が考えられ、その問題の解決に向けた行動ができる力を養う。また、看護者として世界のあらゆる国の看護者を支援し、あるいは看護実践、教育、研究について協働できる力を養う。
7. 看護者として自らの力を信じて自立的に行動でき、看護の質を向上させるために、看護学を自ら追及し、看護を常に革新（Innovation）していく力を養う。

また、附属幼稚園の教育目標は、「おおらかな心とすこやかな体をもつ子の育成」であり、次のような基本方針に沿って幼稚園教育を実施している。

1. 基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を養う。
2. 愛情や信頼感を育て、自立と共同の態度及び道徳性の芽生えを培う。
3. 自然の身近な事象への興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
4. 日常生活の中で、言葉の興味や関心を育て、言葉に対する感覚を養う。
5. 多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにする。

II. 学園の重点事業

- 1、自己点検・自己評価報告書の作成及び第三者評価
- 2、近大姫路大学看護学部 開学
- 3、情報処理設備の更新と事務室システムの構築による省力化
- 4、教育学部未来こども学科（仮称）の増設構想検討

III. 学園の将来構想

18歳人口の激減などによる大学等の淘汰の時代になり、学校経営は今まで以上に厳しい時代を迎えた。学園では今後の生き残りをかけた将来ビジョンとして、次のことを構想したい。

- ・ 4年制のこども学部又は教育学部棟新学部の増設をめざす。
昨今の学校における、いじめなど「こども」をとりまく環境は、決してよいとはいえない。そこで、人間形成の大事な時期を支える幼稚園教諭・保育士を養成し、社会的に貢献できる学生の輩出を構想している。
- ・ 4年制の教育学部未来こども学科（通信教育課程）の開設をめざす。
再チャレンジなど生涯学習の多様化と機会が社会的にニーズになっており、家庭でも学習が進められる、通信教育課程のこども学部等の開設を構想している。
- ・ 北近畿の唯一の高等教育機関としての社会的責任と経営の安定化をはかり、入学者の年齢幅を広げるため、セカンドライフに受入られるような、通信教育の新たな構築を模索している。
- ・ 近畿大学豊岡短期大学から、近大姫路大学への編入コースを設け、多様なニーズへの対応と短大の活性化へ向けた道筋を実現する。

IV. 学園の概要

1、学園所在地の状況等

法人所在地の豊岡市は、兵庫県の北部に位置し、平成17年度に周辺の5町と合併し、新豊岡市となった。豊岡市は鞆産業が盛んであり、これは古くから伝統産業であった杞柳製品から生まれたもので、杞柳製品の生産高は昔も今も全国の約9割を占めており、特に柳行李が有名である。

また、古くから有名な文豪が数多く訪れた城崎温泉も新豊岡市にあり、全国から多くの観光客が訪れている。

また、絶滅寸前であったコウノトリを長い期間をかけて保護増殖させ、平成17年9月に野生復帰を目指し、自然放鳥された。

豊岡短期大学と附属幼稚園は、この自然環境に恵まれた豊かな土地で短大教育と地域の幼児教育に取り組んでいる。

近大姫路大学を開設する姫路市は、ユネスコの世界遺産（文化遺産）にも登録された姫路城があり、荘厳で美しいお城として有名である。大学が位置する大塩町は、江戸期に大規模な塩田開発が進み、一大産地として栄えた土地柄である。

2、 設置する学校、学部、学科等

(1) 近大姫路大学

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042-2

看護学部 看護学科

(2) 近畿大学豊岡短期大学

〒668-8580 兵庫県豊岡市戸牧160番地

通学課程 生活情報・福祉学科 (平成19年度 募集停止)
こども学科

通信教育部 生活情報・福祉学科 (平成19年度 募集停止)
こども学科
社会福祉士養成通信課程

(3) 近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

〒668-8580 兵庫県豊岡市戸牧160番地

3歳児、4歳児、5歳児

V、事業の概要

(1) 平成19年度 学年暦 (予定)

学校法人近畿大学弘徳学園の平成19年度は、下記のような行事を予定している。

4月2日(月)	平成19年度 近大姫路大学開学・入学式
4月3日(火)	平成19年度 豊岡短期大学入学式 近大姫路大学 オリエンテーション
4月4日(水) ～ 4月5日(木)	豊岡短大(通学部) オリエンテーション、健康診断
4月7日(土)	近大姫路大学 健康診断
4月9日(月)	近大姫路大学 前期授業開始
4月11日(水)	附属幼稚園 1学期始業式
4月12日(木)	平成19年度 附属幼稚園入園式
4月21日(土) ～ 4月22日(日)	豊岡短大(通学部) 新入生歓迎会 (フレッシュマンキャンプ)
4月28日(土)	近大姫路大学 新入生歓迎会
5月17日(木) ～ 5月20日(日)	豊岡短大(通信教育部) 学務併修校Ⅰ期スクーリング
6月30日(土) ～ 7月1日(日)	豊岡短期大学 公開講座音楽リサイタル
7月23日(月)	豊岡短大(通学部) 前期授業終了
7月21日(土)	附属幼稚園 1学期 終業式
7月24日(火) ～ 9月24日(月)	豊岡短大(通学部) 夏期休暇
7月27日(金) ～ 8月12日(日)	豊岡短大(通信教育部) 夏期スクーリング、預り保育
7月29日(日) ～ 7月30日(月)	附属幼稚園 5歳児 宿泊保育
8月4日(土) ～ 8月10日(金)	豊岡短大(通信) 社会福祉士養成通信課程スクーリング(前期)
8月10日(金) ～ 9月30日(日)	近大姫路大学 夏期休暇
8月18日(土) ～ 8月24日(金)	豊岡短大(通信) 社会福祉士養成通信課程スクーリング(後期)
8月19日(日) ～ 8月21日(火)	豊岡短大(通信教育部) 学務併学校スクーリング
8月23日(木) ～ 8月26日(日)	豊岡短大(通信教育部) 学務併修校Ⅱ期スクーリング
8月28日(火) ～ 8月31日(金)	豊岡短大(通信教育部) 学務併修校Ⅲ期スクーリング
9月3日(月) ～ 9月6日(木)	豊岡短大(通信教育部) 学務併修校Ⅳ期スクーリング
9月1日(土)	附属幼稚園 2学期始業式
9月26日(水)	豊岡短期大学後期授業開始
9月	防火・防災訓練
10月 ～	豊岡短期大学 公開講座開講
10月1日(月)	近大姫路大学 後期授業開始
10月6日(土)	附属幼稚園 運動会
10月20日(土) ～ 10月21日(日)	豊岡短期大学 大学祭
10月27日(土) ～ 11月25日(日)	豊岡短大(通信教育部) 秋期スクーリング
10月31日(日)	豊岡短大(通信) 社会福祉士養成通信課程 Ⅳ期生修了
11月3日(土)	豊岡短大(通学部) 推薦Ⅰ期入学試験
11月4日(日)	近大姫路大学 大学祭

11月5日(月)	学園創立記念日
11月11日(日)	近大姫路大学 特別推薦入学試験
11月18日(日)	近大姫路大学 一般推薦入学試験
12月1日(土)	附属幼稚園幼稚園 生活発表会
12月8日(土)	豊岡短大(通学部) 推薦Ⅱ期入学試験
12月21日(金)	附属幼稚園 2学期終業式
12月23日(日) ～ 1月10日(木)	豊岡短期大学冬期休暇
12月25日(火) ～ 1月6日(日)	近大姫路大学 冬期休暇
1月10日(木)	附属幼稚園 3学期始業式
2月3日(日)	豊岡短大(通学部) 一般Ⅰ期入学試験
2月10日(日)	近大姫路大学 一般入学試験(A日程)
2月24日(日)	近大姫路大学 社会人入学試験
3月2日(日)	近大姫路大学 一般入学試験(B日程)
3月8日(土)	豊岡短大(通学部) 一般Ⅱ期入学試験
3月4日(火)	平成19年度 豊岡短期大学卒業式
3月15日(土) ～ 3月28日(金)	豊岡短大(通信教育部) 春期スクーリング、預り保育
3月14日(金)	平成19年度 附属幼稚園卒園式
3月19日(水)	附属幼稚園 3学期終業式

(2) 平成19年度の主な事業の計画と目的

平成19年度の主要事業計画は、建学の精神と教育目標を基本にして、次のとおり計画している。

① 第三者評価の実施

平成19年度に、自己点検・自己評価書を作成し、(財)短期大学基準協会にて、外部評価を受ける予定である。自己点検・自己評価を真摯に行い、教育環境の改善とよりよい学校造りに邁進する。

② 教育環境の充実

豊岡短期大学における教学と事務部門におけるコンピュータの整備を行うとともに、個人情報保護などの観点から、セキュリティシステムの導入をはかり、教育環境の充実を予定している。

また、短期大学では、新入生歓迎会・大学祭等の計画を予定し、学費免除などの奨学事業を引き続き計画している。

幼稚園では、早期の漢字教育や外国人講師による英語教育を行い、また四季を通じて、園外保育を重視し、情操教育に配慮した幼稚園教育を行うよう計画している。

③ 大学施設の開放と地域への貢献

大学施設の開放と地域社会への貢献を目的として、講演活動、公開講座の開講等を計画し、地域との連携活動や地域への提言活動に取り組む。

近大姫路大学は、開学年度のため具体的な計画の策定が、やや遅れているものの、豊岡短大では、すでに今年度の公開講座については、音楽リサイタルとパソコン講座を予定している。音楽リサイタルについては、ヴァイオリン等の弦楽器のリサイタルを計画中である。

④ 事務システムの効率化と省力化

多様化する学生ニーズと事務の効率化を図るべく、オープンソフトを利用した新システム稼動に向け、個々のスキルの向上による事務の省力化に向けて取り組む。

⑤ 近大姫路大学の学部増設について、その時期、構想等について取り組む。

⑥ その他

教育研究活動を円滑に行うことを目的に、電気設備の修繕等を計画している。

(3) 平成18年度 事業の進捗状況

進捗状況の概要

平成18年度は、近大姫路大学看護学部看護学科の設置認可に向けて、邁進し、さる平成18年11月30日に文部科学大臣より、近大姫路大学の設立認可を受けることができた。新校舎の建築についても、予定どおり平成19年2月28日に竣工引渡しを受け、3月25日には竣工祝賀会を執り行う運びとなった。現在、4月の開学に向けた諸準備を急ピッチで進めている。

新校舎は、鉄筋コンクリート造り、地上5階建、延面積8,300㎡の建物となっている。開放感あふれるエントランスに学生・教員との交流が図れる外光をとりいれたコラボレーションワークスペース、そして看護教育に必要な最新の施設・設備を備えている。ガラス張りの窓からの眺望は抜群で研究・勉学に励むにふさわしい校舎として最適である。また、設備の整った食堂なども配置し、学生の福利厚生の実現にも努めている。

豊岡短期大学では、「こどもフェスタ」などの地域交流会を行い、学外での体験を通じた教育も行っている。

また、豊岡短期大学では、通学部と通信教育部の生活情報・福祉学科の学生募集の停止を平成18年4月に届け出た。この生活情報・福祉学科は、通学課程は昭和42年度、通信教育課程は昭和44年度の開学であり、40年あまりの家政（生活）系の短大教育は、残念ながら幕を閉じることになった。

公開講座については、今年度は「マリンバリサイタル」を行い、多数の方が来学、好評を博した。

幼稚園については、保育環境の充実を図るため、保育室テラスの人工芝の貼替、グランド遊具の補充等を行い、スクールバスに乗って出かける四季折々の園外保育は、ほぼ計画どおり実施した。

VI、平成19年度予算の概要

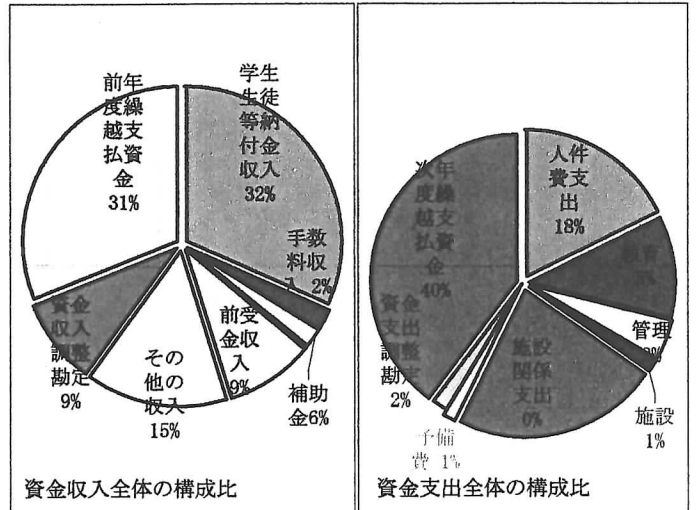
平成19年度予算における財務概要については下記の通りである。
 なお、金額については、百万円未満四捨五入して表示している。

(1) 資金収支予算書 【総括】

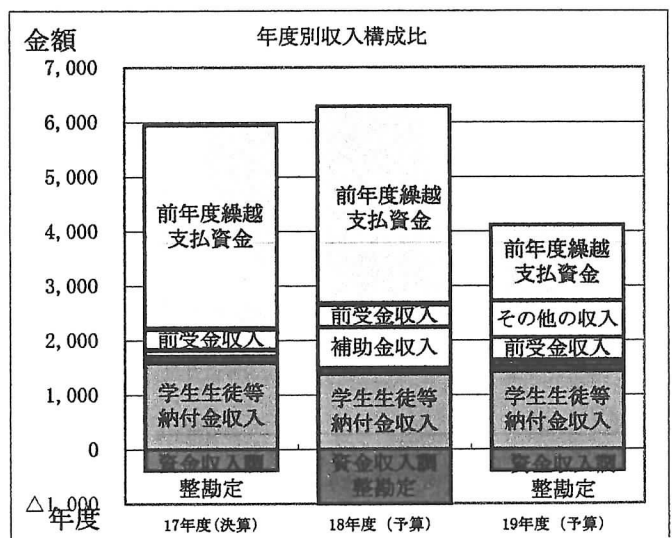
平成19年4月1日～平成20年3月31日

(単位：百万円)

収入の部	17年度 (決算)	18年度 (予算)	19年度 (予算)
学生生徒等納付金収入	1,592	1,378	1,433
手数料収入	111	111	102
寄付金収入	6	6	0
補助金収入	109	738	87
資産運用収入	4	1	1
事業収入	7	5	5
雑収入	9	6	7
前受金収入	362	404	415
その他の収入	25	31	661
資金収入調整勘定	△388	△1,012	△404
前年度繰越支払資金	3,727	3,611	1,410
収入の部の合計	5,564	5,277	3,716



支出の部	17年度 (決算)	18年度 (予算)	19年度 (予算)
人件費支出	597	668	684
教育研究経費支出	292	425	420
管理経費支出	152	213	171
施設関係支出	1,803	2,170	0
設備関係支出	22	224	54
資産運用支出	6	0	0
その他の支出	79	1,009	872
予備費	0	20	50
資金支出調整勘定	△997	△862	△62
次年度繰越支払資金	3,611	1,410	1,526
支出の部合計	5,564	5,277	3,716



※ 百万円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

資金収支予算とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入・支出の顚末を明らかにするためのものである。
 つまり、1年間のお金の動きを網羅したものである。

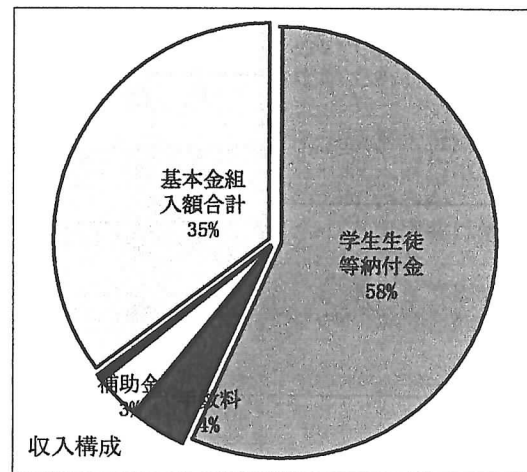
今年度の資金収支予算

大学の新設に伴う校舎建築等事業が終わり、支出額は収入額を上まわらない予算となっている。
 次年度への繰越は、約15億となり前年度予算と比較しやや増加している。

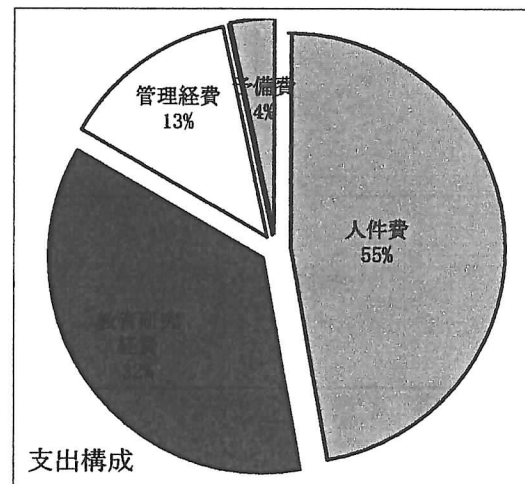
(2) 消費収支予算書 【総括】

平成19年4月1日～平成20年3月31日

収入の部	17年度 (決算)	18年度 (予算)	19年度 (予算)
学生生徒等納付金	1,592	1,378	1,433
手数料	111	111	102
寄付金	6	6	0
補助金	109	738	87
資産運用収入	4	1	1
事業収入	7	5	5
雑収入	9	6	7
帰属収入合計	1,838	2,243	1,634
基本金組入額合計	△900	△2,490	△888
消費収入の部合計	938	△246	746



支出の部	17年度 (決算)	18年度 (予算)	19年度 (予算)
人件費	608	681	701
教育研究経費	343	475	534
管理経費	168	229	198
資産処分差額	3	0	0
予備費	0	20	50
消費支出の部合計	1,122	1,405	1,483
当年度消費支出超過額	△184	△1,652	△736



※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

消費収支とは

毎会計年度、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び収支の均衡の状態を明らかにするためのものである。

つまり、1年間の事業成績を判断するもので、企業会計における損益計算書に近いものといわれている。

今年度の消費収支予算は

近大姫路大学の開設に伴う資産の基本金組入が大きく、単年度においては、支出超過となっている。しかし、前年度までの繰越収入超過額があり、累積的には、問題はないと考えている。